道路問題

問 地域高規格道路ルート決定はいつか

答 4月に決定されると聞いている

下川正剛議員

【地域高規格道路】

問 ルート案が公表されました。長年の悲願がいよいよ実現にむけて大きく前進できると思いますが、村として今後どのように取り組みますか。

村長 県では、豊科北ルートを最適案としたルート案を公表しました。村からは最短ルートとなり、緊急医療の面においても歓迎すべきと考えます。村におけるルート案は、農道1号と通以北の国道148号の現道を利用し飯田から新田の間は更なる調査・検討が必要の区間であり4月には県の方針が決定されると聞いています。村内の意見交換をしながら、実現に向けて進めていきたいと思います。

【平川・松川流域砂防工事】

問 平川・松川流域の砂防工事促進と姫川合流点下流及び中部電力姫二ダム下流の洗掘防止と護岸工事を国・県に対して強力に促進要請する考えは。

村長 床固工の整備が進み、今年度完成と聞いています。合流点直下には水神宮橋や村道があり橋台や橋脚の洗掘や、路肩の流失が懸念されています。中部電力姫二ダム下流では、ダム建設以来、急激に洗掘護岸の崩壊が進み農地の流失の危険性がはらんでおり、国・県に対して砂防工事の促進要請に努めていきます。

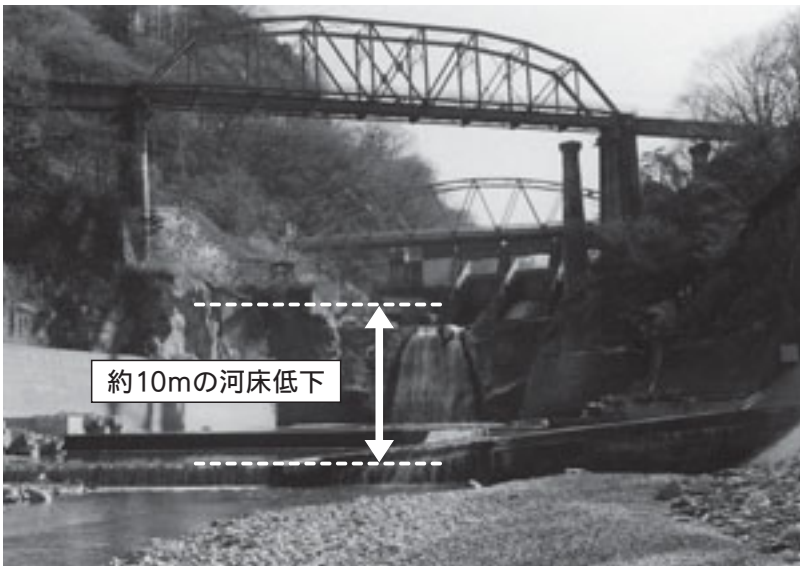
【地上デジタル放送】

問 2011年にアナログ放送からデジタル放送に移行されますが対策は。また、集落によっては共同アンテナ対応している組合数は現在どのくらいありますか。

村長 地上デジタル放送に完全移行になり、視聴者においては機器の購入などそれぞれの立場での対応が必要となります。共同アンテナの組合数は、神城4地域・北城4地域で、受信設備改修は必須であり、国等では整備方法について、地域の状況に即した支援制度を設けています。

問 防災無線も老朽化をしており、将来的には小谷村のような全村光ファイバーでの対応の考えは。

村長 関係機関と調整ができ財政が許すのであれば、テレビという映像を通じて村独自の情報公開のためのアイテムとして、全村的に活用できれば最良と考えています。



進む河床低下　姫二ダム下流

【行政運営】

問 村民の目線での行政改革・庁内改革の意気込みを現在どのように認識していますか。

村長 就任時から村政運営の基本は住民が主人公の認識下、住民の目線に立った行政運営に心がけているつもりです。民間感覚を取り入れた運営を心がけ、常に危機感を持ちスピード感、既成の概念にとらわれず行政運営を行っています。庁内改革においても職員には常日頃から、村民の税金から給料をいただいていること、公僕であることを忘れず、挨拶・窓口対応も含め村民の目線での対応を指示しています。

問 職員とのコミュニケーションを、どのように図っていますか。

村長 個人面談などしながら職員との意思の疎通を図っています。